

公立中高一貫教育校の入学者選抜について

併設型中高一貫教育校での教育を実現するために、他県で実施されている選抜方法の概要および具体的な出題例等を参考にして、福井県における併設中学校の入学者をどのような選抜方法で選考すればよいかを検討する。

1 選抜形態

- ・各都道府県教育委員会が選抜要項を作成
- ・選抜内容、選抜方法、検査時間等は各校共通が原則（一部の都府県で学校独自出題を認める場合もある）

2 選抜方法の具体的内容

選抜方法	内容・事例等
面接	東京都、神奈川県を除く道府県で実施 ○集団面接 ○個人面接
作文	○テーマ型 与えられたテーマについて自由に書く作文 ○課題文型 課題文や図表が与えられ、読解力と表現力を試す作文 ・グラフ資料を見て自分の考えを書く。 ・文章を正しく読み取り、自分の考えを書く。 (出題例1 滋賀県の作文) ・対立する意見を踏まえて、自分の意見を書く。 ※適性検査の中で、作文力を問う場合もある。
適性検査	○各教科の学習内容に近い出題 (出題例2 石川県 4) ○思考・判断・表現の力を試す出題 (出題例3 滋賀県 1枚目の6) (出題例4 宮崎県 第2部の 課題2) ○その他、複数教科の融合、企画立案、放送による問題の出題 (出題例5 静岡県 問題IのII 沖縄へ行ったよ) (出題例6 静岡県 問題IのI)

調査書	出願書類として提出（報告書と呼ぶ場合もある） 小学校の指導要録をもとに、小学校5年、6年の教科の観点別学習状況や成績、総合的な学習の時間、外国語活動の記録、特別活動の記録、行動の記録、出欠の記録等を記載 （調査書例 京都府）
抽選	北海道、栃木県、埼玉県、京都府、滋賀県、香川県が実施 このうち、埼玉県は抽選で受験者を絞り込み その他の道府県は、合格候補者を選抜後に抽選を実施